



アルムの丘から

第 20 号

発行日 平成23年 2月7日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号:382-0034 住所:長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号:代表026-215-2662

ケアハウス ピュアリッツはクラブ活動が盛んです。今回は書道クラブを紹介します。ピュアリッツの書道クラブは、毎週木曜日の10時から活動しています。ボランティアの池田先生のご指導のもと、参加されている入居者様は、ものすごい集中力で熱心に筆を走らせています。お部屋に戻って自主練習をされる方も多く、みるみる達筆になられていくのが、素人目にも分かるほどです。最近では、大東文化大主催の全国書道展に入選をされる方もおられ、大きな楽しみのひとつとなっています。

■クラブ活動スケジュール

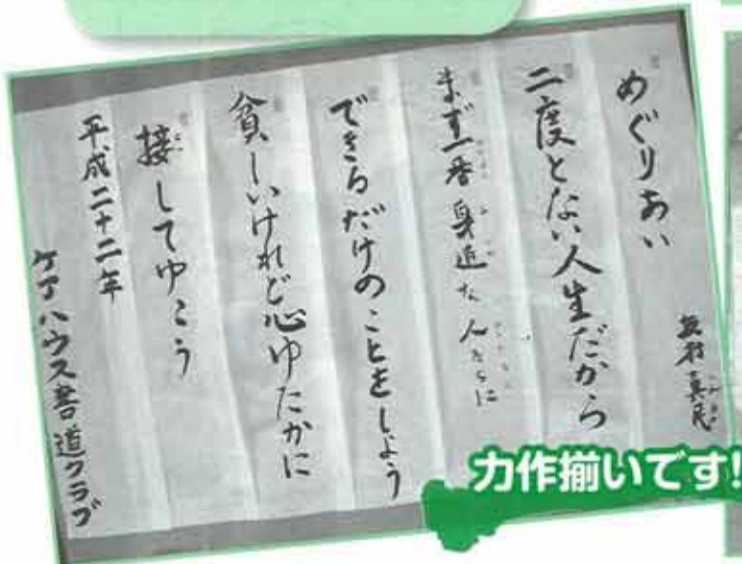
月曜日	コカリナクラブ
火曜日	手芸クラブ
水曜日	知水の会※
木曜日	書道クラブ
土曜日	悠々クラブ(風船バレー)



※知水の会とは・・・

もともとお経の勉強会として発足したクラブですが、最近では瀬戸内寂聴さんの「いきいき人生塾」CD全集を聞きながら、皆様に自由に語り合う場となっています。

おじゃましてーす! ケアハウス ピュアリッツ



力作揃いです!



お願い

ノロウイルスや、インフルエンザなどの

感染症
予防に

手洗いを 励行しましょう!!

感染症予防の基本は、「手洗いに始まって、手洗いに終わる。」と言われるほど、手洗いは重要です。正しい手洗いの方法を身につけ、帰宅後やトイレの後、食事前などにこまめに行うことで、感染症を予防しましょう。

<手洗いにおける注意事項>

- ・まず手を流水で軽く洗う。
- ・石けんを使用するときは、固形石けんではなく、液体石けんを使用する。

- ① 手を洗うときは、時計や指輪をはずす。
- ② 爪は短く切っておく。
- ③ 手洗いが難しくなりやすい部位は、注意して洗う。
- ④ 使い捨てのペーパータオルを使用する。
- ⑤ 水道栓の開閉は、手首、肘などで簡単にできるものが望ましい。
- ⑦ 水道栓は洗った手で止めるのではなく、手を拭いたペーパータオルで止める。
- ⑧ 手を完全に乾燥させること。

出典：日本環境衛生学協会 感染予防マニュアル(2001)

※ グリーンアルム福祉会では、施設内に入られる場合は、通年、受付で手洗いをお願いしております。ご理解とご協力をお願いします。

老人ホーム利用者作品展を開催しました!!

去る平成22年7月29日、仁礼コミュニティセンターにて、長野県老人福祉施設事業連盟主催の老人ホーム利用者作品展（北信地区）が開催されました。

今年度は、当法人の特別養護老人ホームグリーンパルベルが当番施設となりました。三木須坂市長様にもご出席をいただき、北信地区の21施設が作品を持ち寄り交流しました。

各施設のご利用者が作られた作品は、どれもすばらしく感動しました。

グリーンパルベルは、初めての当番施設ということ、至らない点多々あったかと思いますが、精一杯務めさせていただきました。ご協力ありがとうございました。



平成22年度老人ホーム利用者作品展（北信地区）

素敵な作品ができました!



平成22年度老人ホーム利用者作品展（北信地区）

グリーンパルベルの作品が見事 県知事賞をいただきました!!

今年度は当番施設であるため、昨年の作品以上の物を作ろうと思いい、取り組んできました。当施設は10周年を迎えるということで、グリーンパルベルの模型と、今年の干支である寅の置物を作ることになりました。

制作にあたって、手の不自由なご利用者が多く、細かい作業が困難でしたが、職員ができないことを補って作品作りを進めました。

天気の良い日には散歩に出かけ、グリーンパルベルの模型を作るため外観の下見にいきました。アルムの建物のまわりに毎年咲ききれいな紫陽花を見たことを、作品作りの際に思い出し、楽しく会話をしながら作り上げました。

作品展終了後、ご利用者に県知事賞受賞の報告をすると、皆様大変喜ばれておりました。作品は、施設玄関ホールに展示しています。ご来設の際には是非ご覧ください。



お楽しみ会を開催しました!

12月10日に、職員からご利用者の皆さんへのクリスマスプレゼント(?)として、趣向を凝らした出し物が披露されました。

ご利用者の皆さんには、笑いのある楽しいひと時を過ごして頂くことができました。



ハンドベルならぬ「ヘッド」ベルの演奏に大笑い!!

♪安来節♪

☆相撲☆
会場から掛け声が飛びます

朝ドラ「てっぱん」のダンスに皆さん見入っていました

編集後記

寒い日が続いております。
「アルムの丘から」第二号をお届けいたします。
今年に入りいっただけなく降雪と寒さが続いておりますが、昨年末からの「タイガーマスク」現象、とも呼べる、児童養護施設等への寄付が相次いでいる「ニュースを聞く」と、そこで暮らす子どもたちの笑顔が想像され、気候とは裏腹に、温かい気持ちになります。
また、自分でも何かできることはないかと、考えさせられる機会にもなりました。児童福祉だけに限らず、高齢者福祉においても、公的なサービスだけではすべてを補うことは難しく、善意の気持ちと行動（寄付だけでなく、ボランティア活動などに支えられている面が多分にあります。チームでは終わらずに、細く長く続いて欲しいと思います。今年も、親しみを持って頂ける魅力ある広報誌となるよう、ご利用者の皆さんの生活の様子や当法人の活動など、より幅広く身近な話題をお届けしたいと思っております。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。(一)

